

日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会
(第25期・第8回)
議事要旨

日 時：2022年10月23日（日）17：00～18：30

場 所：オンライン開催

出席者：和気純子、岩崎晋也、大和三重、住居広士、竹本与志人、原田正樹、保正友子、牧里毎
治、山野則子、湯澤直美（10名）

欠席者：岩永理恵、金子光一、木原活信、野口定久

記 録：保正友子

<議題>

1. 前回議事要旨の確認

前回の議事要旨を確認した。

2. 見解の査読結果と修正について

①査読に対する修正点の確認

- ・査読結果が戻り、各執筆者と相談して修正を行った。和気委員長より修正点が説明された。
- ・査読者からのコメントに対する加筆修正点を議論した。

2. シンポジウムの開催について

テーマ：『コロナ禍で顕在化した危機・リスクと社会保障・社会福祉～誰一人取り残さない制度・支援への改革～』

①趣旨：発信した見解にもとづき、見解執筆者らによる提案の背景、意義、内容の報告に対し、外部有識者らからのコメントをふまえ、誰一人取り残さない制度・支援への改革にむけた今後の展望について議論する。

②期日：2023年3月26日（日）13時半～16時

③場所：オンライン

④シンポジウムの流れ

開会挨拶

発題：原田連携会委員（生活困窮者＋差別防止）・山野特任連携会員（子ども家庭）・湯澤連携会員（女性）・和気会員（日常生活に支援を要する人）

コメント学術、社協、行政（内閣府等）、当事者団体等よりコメンテーターを依頼する。

閉会挨拶

⑤日本社会福祉系学会連合に共催を依頼する。

3. パンデミックと社会の連絡会議によるアンケート結果について

- ・パンデミックと社会に関する連絡会議の各サブテーマについて、分科会へのアンケート調査が実施された。その結果から、今期ではなく、次期26期に課題別委員会等を設置し、パンデミックと社会改革等のテーマで提言作成に取り組むのが現実的ではないかという連絡会議の方針が示された。

4. その他

- ・10月下旬に予定されていた日本学術会議総会が延期された。総会では、学術会議のあり方について議論される予定である。
- ・2023年1月25日・26日に国際委員会が主催する国際シンポジウムが開催される。26日のテーマは「災害と福祉」である。日本社会福祉系学会連合と国際ソーシャルワーク学校連盟にも後援依頼を行う予定である。

以上